

電 波 時 計

(回転飾り付置時計)

もくじ

1. 安全にお使いいただくためにははじめにお読みください	2
2. 電波時計について	3
■ 電波時計とは	
■ 標準電波とは	
■ 電波の受信範囲について	
■ 標準電波の送信停止について	
■ 海外でのご使用について	
(電波を受信しにくい環境)	
3. 各部の名称と役割	4
(設置について)	
(外観について)	
4. ご使用方法	5
(受信の流れとサーチ機能の使いかた)	5
(明暗センサーのはたらき)	6
(静電気による誤作動について)	6
5. 標準電波を受信できない場合	7
(手動での時刻合わせ)	7
6. 電波受信機能のON/OFF切り替え操作	8
7. 電池の交換時期お知らせ機能	9
■ 電池の交換について	
■ 電池の種類について	
■ 電池の寿命について	
8. お手入れについて	10
9. 電池・製品の廃棄について	10
10. おもな製品仕様	11
11. アフターサービスについて	12
(お問い合わせ先)	

付属品 電池 4個、保証書 1枚、取扱説明書 本書

1. 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

- 図記号の説明 ○ 禁止（してはいけないこと）を示しています。
● 指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容



必ず守る

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。



禁止

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池に充電しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。



電池から漏れた液にふれない

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を取り外して、漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意

傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容



浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。



ぬれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。



分解禁止

分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。



必ず守る

強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。



必ず守る

下記のような場所では使わない。

性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器からの風が直接当たる所。
- 火気の近く。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

2. 電波時計について

■ 電波時計とは

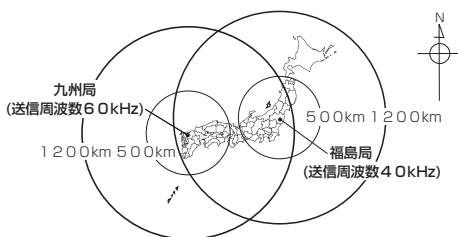
クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

■ 標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。標準電波送信所は、福島県の「福島局:おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jyy.nict.go.jp)

■ 電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



福島局と九州局の標準電波を自動選択して受信します。

■ 標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

■ 海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。電波受信機能をOFFにして、手動で時刻を合わせてご使用ください。

電波を受信しにくい環境

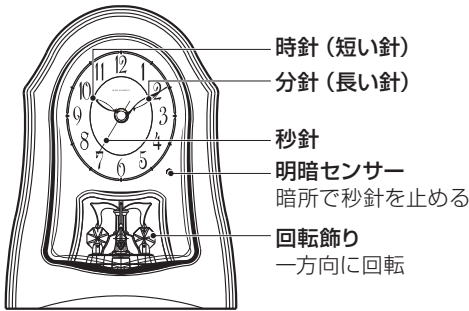
次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- 地下、ビルの中、ビルの谷間など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



3. 各部の名称と役割

●図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



針の動き……通常の時刻表示

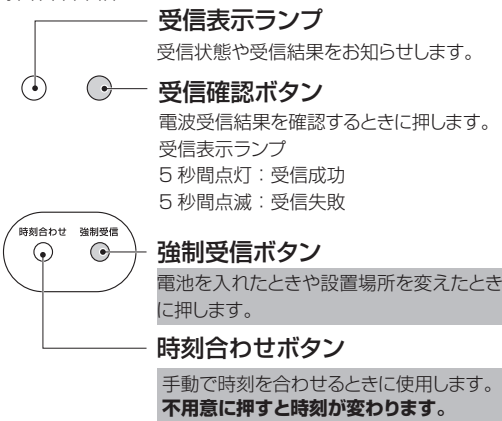
時針・分針 : 10秒に1回動きます。

秒針 : 連続して動きます。

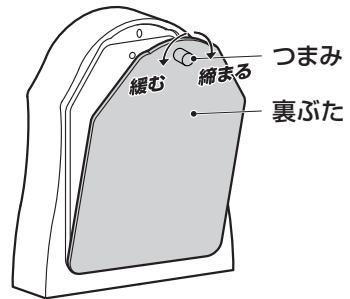
※自動受信により、時刻を修正するときは早送りや移動したり、停止することがあります。

※秒針は時刻を修正するときに早送りしません。

操作部詳細

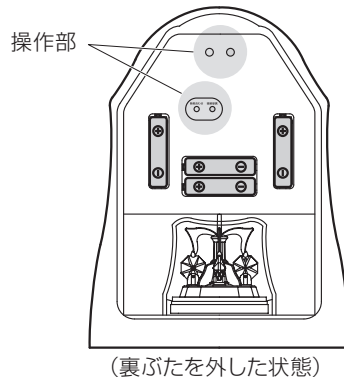


■ 裏ぶたの取り付け / 取り外し



■ 電池のセット

単3形アルカリ乾電池 4個



⚠注意

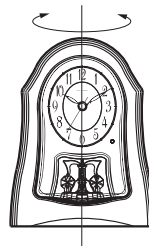
電池の⊕⊖を逆向きに入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。

設置について

時計の転倒や落下を防ぐために、水平で振動が少ない安定した所に置いてください。

水平な所に置くと回転飾りが動き出します。

動き出さないときは、時計本体を軽く左右に回転させてください。



4. ご使用方法

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、**（手動での時刻合わせ）**(P.7) を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

① 裏ぶたを取り外す

② 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて単3形アルカリ乾電池を入れる

③ 強制受信ボタンを押す

電池を入れた後は必ず強制受信ボタンを押してください。受信表示ランプが点灯して受信を開始します。針は早送りで、4時、8時、12時のいずれかの時刻に移動して、受信が終わるまで停止します。受信が終わると早送りで時刻位置に移動を開始します。

※早送りの途中で針が一時停止することがあります。

※受信中はボタン操作をしないでください。

④ 16分経過したら受信確認ボタンを押して受信結果を確認する

受信表示ランプ 5秒間点灯：受信成功 5秒間点滅（5回点滅）：受信失敗

受信に失敗したときは、「5. 標準電波を受信できない場合」(P.7) を参照。

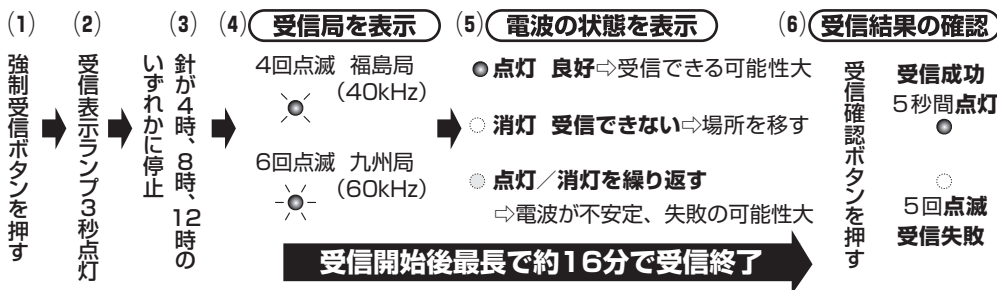
⑤ 裏ぶたを取り付ける

※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。

※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信ボタンを押してください。

※受信結果は、24～25時間以内の受信結果を表示します。

受信の流れとサーチ機能の使いかた



電波サーチ機能の使いかた……………電波を受信しやすい所を探すには

①窓際やベランダで(5)まで行き、受信表示ランプが点灯していることを確認します。

消灯しているときは電波を受信できませんので、時間帯や日を改めて試してください。

②時計を設置する所に移動して、受信表示ランプで受信状態を見ます。

消灯している場合は、時計の位置を変えてみてください。

明暗センサーのはたらき……………暗くなると秒針が12時位置に止まる

明暗センサーが暗いと判別したときは、秒針が12時位置に停止し、標準電波の受信を停止します。昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが働きます。

※明るいところでも常時秒針が停止するときは、電池の交換時期です。

「7. 電池の交換時期お知らせ機能」(P.9)を参照してください。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときは強制受信ボタンを押してください。

5. 標準電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておく
と受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える／受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面
が電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行って
ください。

●時刻を合わせ使用する

ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。
電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

手動での時刻合わせ…電波を受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。

※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きに
なってから操作してください。

※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

「6. 電波受信機能のON/OFF切り替え操作」(P. 8)を参照してください。

操作

○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。

○時刻合わせボタンを押し続けると早送りで動きます。

○時刻合わせボタンを押すと秒針は停止します。

秒針の動きについて

時刻合わせボタンを離れたときにゼロ秒に設定されます。

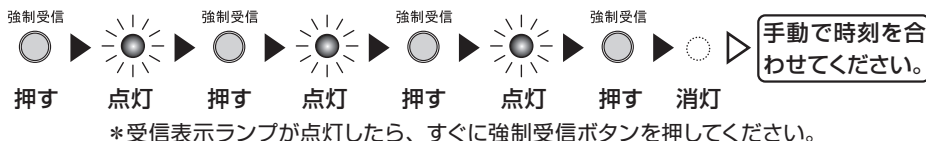
秒針は、秒針が指している時刻になるまで、最長で61秒程度停止しています。

6. 電波受信機能のON/OFF切り替え操作

誤受信しやすい所で使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

■電波受信機能をOFFにするには（標準電波を受信しないようにする）

図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。



※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

■電波受信機能をONにするには（標準電波を受信するようにする）

工場出荷するときは電波受信機能がONになっています。

受信機能がONのときは、標準電波を受信を定期的に試み、受信に成功すると時刻を自動修正します。

時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。



ご注意

※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。

※電池を取り出しても設定を長い時間保持していますので、電波受信機能をOFFからONにするには、必ず上記の操作をしてください。

※回路内に電荷がなくなると、電波受信機能はONになります。

7. 電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換時期になると、明るいところでも秒針が12時位置に停止したままになり、電波の受信をしなくなります。明るい所で秒針が12時位置に停止したら速やかに新品の電池にすべて交換してください。

※電池の交換時期をお知らせしてから1ヵ月程度は時計と分針は動き続けます。

※秒針は強制受信ボタンを押して受信しているときは明るい所でも停止します。

■ 電池の交換について



注意

電池からの液漏れにより、時計の修理や家具の修繕などに費用が発生することがあります。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに電池を交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても2年に1回定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混ぜて使用しない。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

※同じ電池メーカーのおなじ種類の電池を使用することをお勧めいたします。



■ 電池の種類について

- 本製品は 電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

■ 電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

8. お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

9. 電池・製品の廃棄について

- お住まい地区自治体の指定に従ってください。
- 廃棄するときは電池と本体を分別してください。

10. おもな製品仕様

時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度	秒針±1秒	時針/分針	目盛りに対して±3度
	標準電波を受信しないとき	平均月差±20秒		温度が5~35℃のときのクォーツ精度
使用温度範囲	-10 ~ 50℃ *結露しないこと			
使用電池	単3形アルカリ乾電池	1.5V	JIS規格	LR6 4個
電池寿命	約2年	電波の受信に成功して、1日当たり7時間暗所にて秒針が停止したとき		
標準電波	標準電波を受信して時刻を修正			
受信局	福島局/九州局 自動選択			
受信回数	最少1回/日、最多6回/日 *受信状態により変化			
受信開始時刻	2時、3時、4時、12時、13時、14時	各時間帯の16分20秒		
	*2時16分20秒は、必ず行う			
受信機能	ボタン操作でON/OFF切り替え			
サーチ機能	受信局、電波の強弱表示			
手動時刻合わせ	ボタン操作			
暗所秒針停止	明暗センサーと連動して、暗くなると秒針が12時位置に停止			
電池の交換時期お知らせ機能	交換時期になると秒針が常時12時位置に停止させる			
回転飾り	一方向に回転	装飾用		
防水機能	なし			

●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

12. アフターサービスについて

この製品のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

電子回路など、この製品の修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無償保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有償での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

ご使用方法やアフターサービスについてのご相談は、お客様相談室にお問い合わせください。

お問い合わせに際しては、時計裏面または底面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。例 4RY○○○

(フリーダイヤル)
お客様相談室 0120-557-005

受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)

製造
発売元

リズム時計工業株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12

<http://www.rhythm.co.jp>

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。

本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますので、ご了承ください。